

Fig. 3

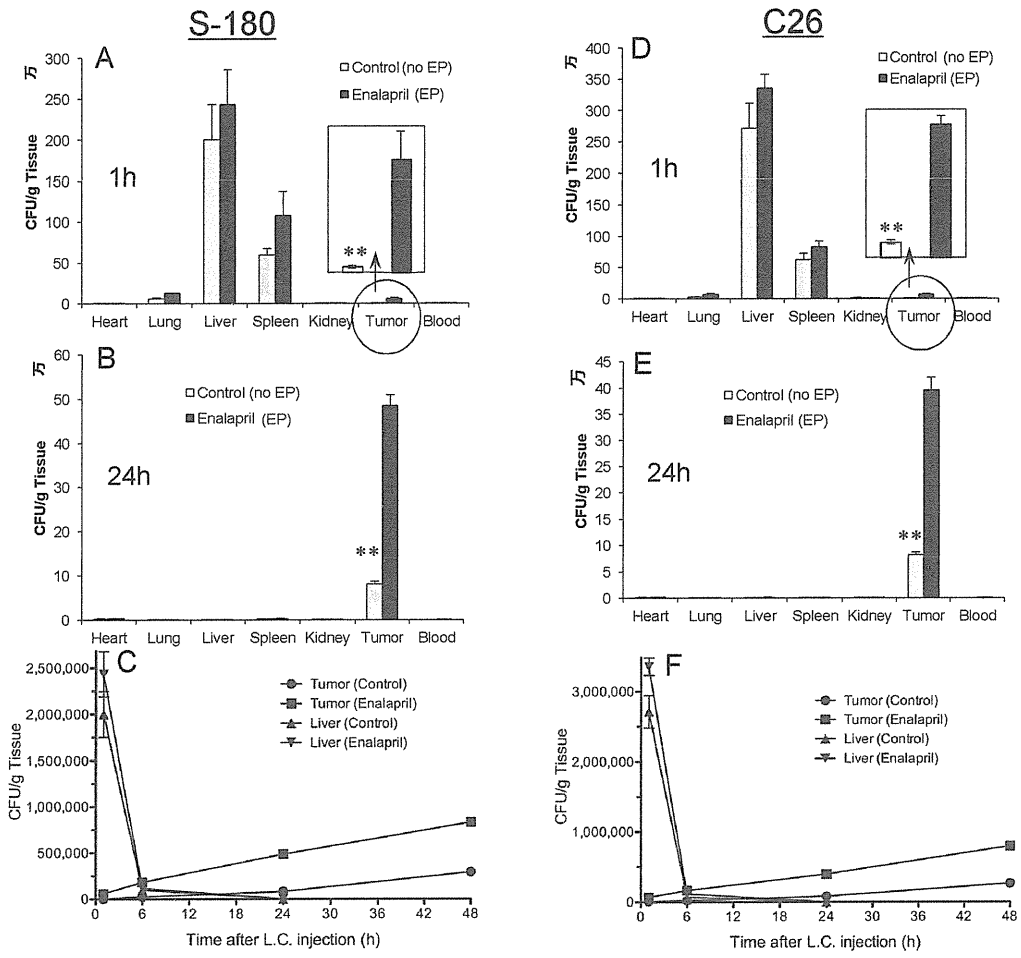


Fig. 4

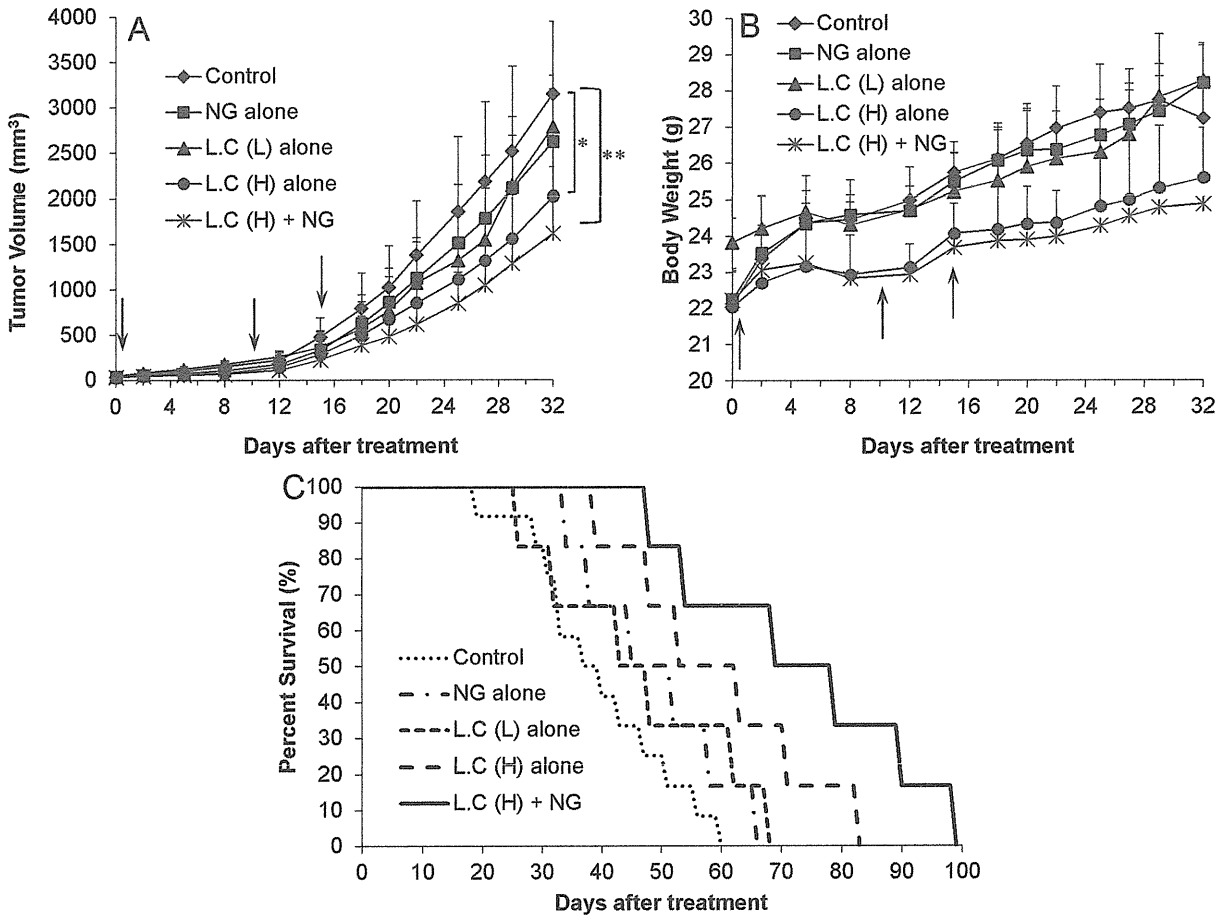
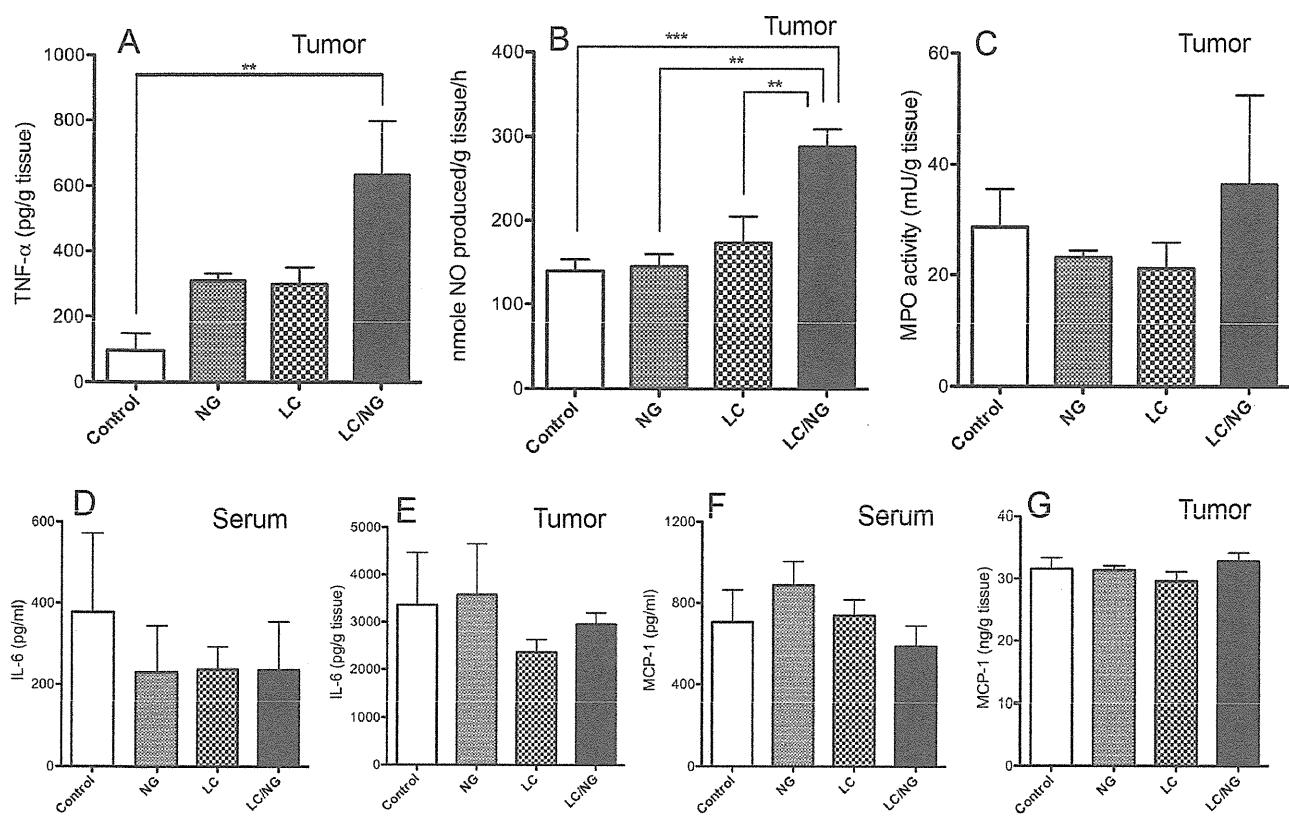


Fig. 5



Supplemental data
Fig. S1

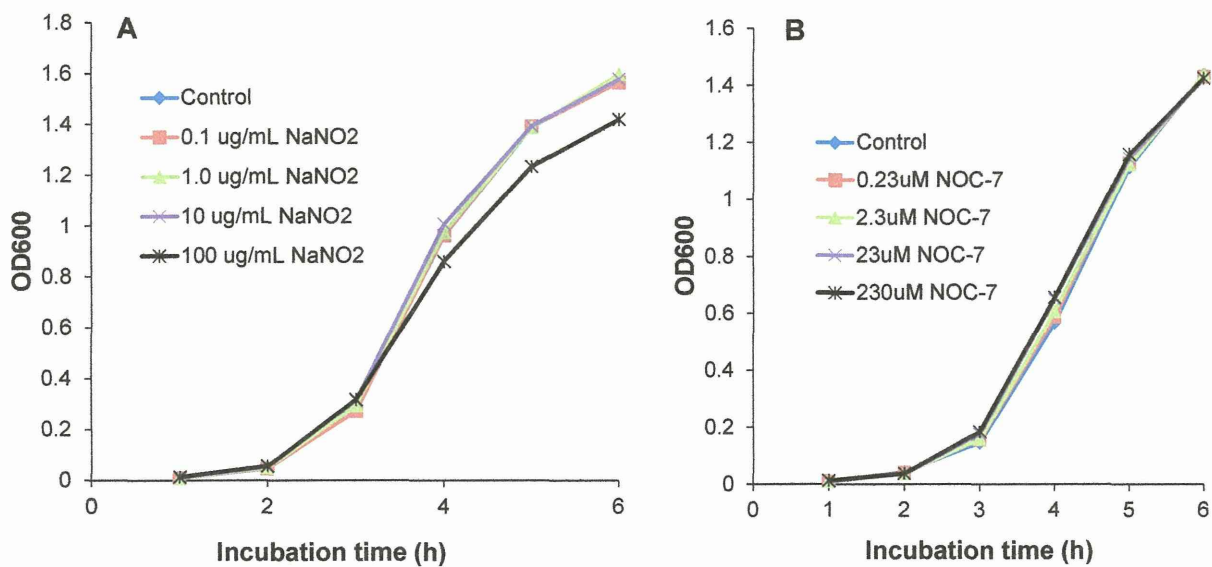


Figure S1. Effect of sodium nitrite (A) and nitric oxide donor NOC-7 (B) on the growth of *L. casei*. *L. casei* was cultured in MRS medium, and sodium nitrite or NOC-7 was added at different concentration. At indicated time after incubation, the numbers of bacteria were estimated by the optical density at 600 nm. No significant change of bacterial growth was observed in both treatment at the indicated concentrations. See text for details.

現今のがん治療薬のかかえる問題

前田 浩

崇城大学DDS研究所 特任教授

ランセット誌やニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディシンなどの医学系雑誌

を

取り上げられていま

海外のLancetとかMedical Journal、あるいはNew York Timesなどでも医療問題のことはほとんど毎週、大変な問題として立ちま

米国医療費の驚愕：医療ビジネス

Health care is eating away our economy and our treasure !!

医療が米国の経済と財政を食いにしている！

- GDPの約20%が医療費：全米で2.8兆ドル(280兆円) (他の先進国ではその半分という) 8,000億円は政府によるMedicareの支払

- NYの上位18位の企業のうち、8つが医療関連で4つが銀行

- 家庭破産の62%は医療費による

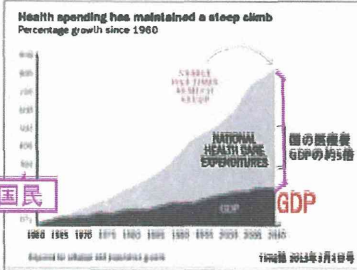
Time誌 2013年3月4日号

今日最初に示したのはTIME誌のアジア版には載っていない、アメリカ版だけに去年の3月に載っていたんですが、要するに「Health care is eating away our economy and our treasure!! 医療が米国の経済と財政を食いにしている！」という記事です。

アメリカでも驚くべきはGDPの約20%が医療費、つまり全米で2.8兆ドル。大変な問題でそのうちオバマケアで90%はカバーされているのですが、そのMedicareの支払いだけで8,000億円になっています。そこで、ビジネスという観点からすると、ニューヨーク市の上位トップ18社の企業のうち8つが医療、4つが銀行ということです。要するに経済に完全に翻弄されていて、アメリカの家庭の破産のうち62%が医療費が原因と言われています。こういうことが28ページにも渡る大特集号になっていましたが、日本ではほとんど無視されています。

具体的にいいますと、GDPは年々増えているのですが、National Health Care Expenditures、つまり医療費の増加率は5倍になっています。これで国がやっつけられるのだろうかというのは、いろいろ破産に向かっているということと、共和党と民主党の対立の大きな問題点でオバマケアもなかなか難しい問題がそこに控えているということです。

アメリカのがん関係の話をする、がんにかかったということは5千万から1億円かかるということだと言われている。どうしてこのようなことが許されているのか。これは1年間の所得どころではないのです。タイムはものすごい詳しく調べているのですが、アメリカはロビー活動もすごいあるわけですから、議会もまっとうな判断を失っている。議会も製薬業界、病院も含めて5,300億円がロビー活動に使われて、軍事や石油・ガス関連よりも3倍以上のお金がロビー活動に使われていて、議会が影響を受けているということです。

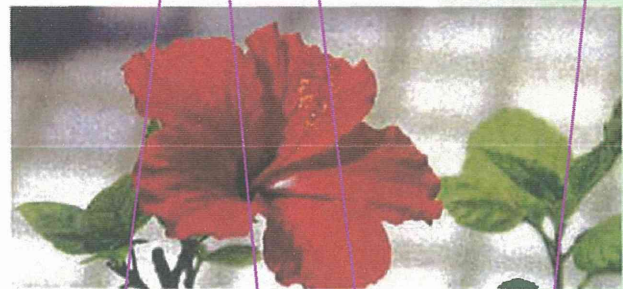


国民の医療経済はこれでよいか

平成25年
 国の歳入 51兆円
 国民医療費 38兆円
 医療給付金の増加率 年 1兆円

(平成26年)
 ・後期高齢者医療 12.7兆円
 ・本人負担 + 保険料 1兆9,000億
 ・公費負担金 5兆8,000億
 ・被雇用者保険 5兆

日本の場合を簡単に説明すると、年齢などいろいろな状況で違ってきますが、大腸がん治療ではいろんなものを併用してですが、1回で75万円くらい。これを20サイクルしますから、これだけで1千万~2千万円の世界です。非小細胞肺癌治療も年に千何百万。こういう治療は、高額医療ですから公的支援で本人の負担は少なく、それが有難いことなのですが、それが結局日本の財政の、50兆円くらいの税収に対して38兆円使っています。90%近くが医療費となっております。これはアメリカと一緒に、いつまで続けられるのだろうか、ということです。しかも毎年医療費給付金の増加率が1兆円から2兆円と言われています。いまデフレのときなので、1兆円となっておりますが、こういう財政でいいのかということです。



医療事業を
を
食いのにし
問題

このTime誌の

であり

ある

改行

その一つに

の金額

の金額

の金額

の金額

の金額

の金額

の金額

の金額

国民

その

ものが

の金額

の金額

の金額

た場合

医療費には

が、一般的な国家財政に対する心配事であり、つまり、

な局面で ~30倍

公益財団法人(内閣府所管) 札幌がんセミナー

つまり税収の8 ために低くて

同じ

昨年までは

